

令和5年度 富山県指定管理鳥獣捕獲等事業

基本評価シート（ニホンジカ）

（富山県生活環境文化部自然保護課）

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業（直営）		
	令和5年度富山県指定管理鳥獣捕獲等業務（捕獲等）委託		
	令和5年度富山県指定管理鳥獣捕獲等業務（計画策定・効率的捕獲促進等）委託		
	ニホンジカ糞塊密度調査業務委託		
都道府県名	富山県	担当者部・係名	野生生物係
担当者名	松本	担当者連絡先	076-444-3397
捕獲実施事業者	富山県	予算額（※2）	63,370,000円
	（一社）富山県猟友会 （公財）富山県民福祉公園 （認定を受けている ・受けていない）	予算額の内捕獲に要する経費（※3）	2,989,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
43 頭	59 頭	137 %

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
2,656 頭（令和2年度末）	241 頭以上の捕獲	1,160 頭以下（R1 生息頭数）
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
104 頭	一頭	297 頭

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

なし。

2. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> 目撃情報が多く生息密度が上昇しつつあり、かつ捕獲の要望が高い地域においてニホンジカの捕獲等を実施し、管理計画の目標の達成を図るとともに新たな捕獲手法の開発・普及を行う。 <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置づけも記載する。</p>
※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。	<input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。 <input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
実施区域	目撃情報が多く生息密度が上昇しつつある黒部市区域、富山市区域、高岡市区域、砺波市区域、南砺市区域、氷見市区域、小矢部市区域 ※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付（別紙 図1）
関係機関との協力	富山県指定管理鳥獣捕獲等協議会を設置し、市町村と連携
事業の捕獲目標	(137%達成) = (59 実績値) / (43 目標値)
捕獲手法	【銃猟】 <input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟 <input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟 <input type="checkbox"/> その他 () 【わな猟】 <input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな <input checked="" type="checkbox"/> その他 (誘導ネット＋くくりわな) ※1：各種猟法の定義は「5. 各種猟法の定義」参照、※2：複数チェック可
捕獲個体の確認方法 ※複数チェック可	<input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（頭骨、耳、尾など） <input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載：日付け、場所等の看板） <input type="checkbox"/> その他 ()
捕獲個体の処分 ※複数チェック可	捕獲個体の処分について <input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。
環境への影響への配慮	わなによる錯誤捕獲について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：カメラで事前調査し、わなを移動・不稼働にする） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	<ul style="list-style-type: none"> 緊急連絡簿の作成 救急救命法の安全講習開催 国主催研修の受講 「くくりわなによるイノシシ等の捕獲安全管理マニュアル」（以下、「マニュアル」という。）の作成
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数：171人 （内訳）正規雇用者：1人、期間雇用者：1人、日当制：169人

3. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	評価：達成 ・目標を上回る捕獲数となった。
	改善点：－
【実施期間】	評価：達成 ・計画どおりの期間で実施した
	改善点：－
【実施区域】	評価：達成 ・計画どおりの区域で実施した
	改善点：－
【捕獲手法】	評価：達成 ・計画どおりの手法で実施した
	改善点：－
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：達成 ・計画どおりの体制で実施した
	改善点：－
【個体処分】	評価：達成 ・計画どおりの処分で実施した
	改善点：－
【環境配慮】	評価：達成
	改善点：－
【安全管理】	評価：達成 ・計画どおりの安全管理を実施した。
	改善点：－
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
評価：達成 ・従事者に対してジビエ利活用に関する研修を実施した。	

4. 全体評価：達成

・さらに総合戦略的な捕獲するために、下記項目についても評価する。

①担い手育成（安全、確実及び継続的な捕獲のため）

評価：達成

・ジビエ利活用についての研修の実施

改善点：研修受講者のさらなる拡大

②調査（効率的・効果的な捕獲のため）

評価：達成

・GPS 首輪装着による行動域調査、自動撮影カメラによる撮影頻度算出

改善点：怪我をさせない捕獲手法を導入し、GPS 首輪装着を効率的に実施する。

③予算確保（継続的な捕獲のため）

評価：達成

・経費の確保、労力と経費のコスト記録

改善点：必要経費の算出及び確保、歩掛り調査の実施

評価基準

達成：目標又は進捗率 100%以上

（目標どおり若しくは目標以上の成果をあげた）

ほぼ達成：目標及び進捗率 80%以上

（量的・形式的には達成しているが、質・精度にやや問題がある）

未達成：目標及び進捗率 80%未満

（量的・形式的に達成していない）

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

第二種特定鳥獣管理計画の令和5年度の年間捕獲目標は 241 頭であり、有害捕獲及び狩猟を含めた全体の捕獲実績は 460 頭で、目標を達成した。

また、全体の捕獲実績 460 頭のうち、59 頭は当事業における捕獲であった。

近年、県内のニホンジカの捕獲数は増加傾向であり、個体数の増加も懸念される。当事業では、基本的に生息域である山林域での捕獲であり、分布拡大の防止のために引き続き捕獲を強化していく必要がある。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 （ 歯列、頭胴長、体高、尾長、首囲、後足長 ）	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数* <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 （わな稼働日数＝わな基数×稼働日数）	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	くくりわな捕獲の場合、設置場所を変更することがあり、1 km メッシュ毎の稼働日数や捕獲数のデータ管理が煩雑を極める。

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： 328 人日

事前調査人日数概数※2： 48 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 280 人日

項目	令和 5 年 (事業年度の値)	令和 4 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	328 人日	434 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1: 事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2: 事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： 6,732 人日

事前調査人日数概数※2： 66 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 6,666 人日

項目	令和 5 年 (事業年度の値)	令和 4 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	54,874 基日	55,918 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1: 事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2: 事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和 5 年 (事業年度の値)	令和 4 年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	11 頭	2 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	30 頭	29 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.55 (6/11)	0 (0/2)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.09 (1/11)	0.0 (0/2)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和 5 年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	11 頭	328 人日	0.033 頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	0.091 頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカ リング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE=捕獲数/のべ人日数

※3：SPUE=目撃数/のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

③ わなによる捕獲

項目	令和 5 年 (事業年度の値)	令和 4 年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	48 頭	28 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.56 (27/48)	0.29 (8/28)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.15 (7/48)	0.14 (4/28)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和 5 年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ^{※1}	CPUE ^{※2}
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	46 頭	51,620 基日	0.09 頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	0 頭	356 基日	0.0 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな	0 頭	1,728 基日	0.0 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> その他 (誘導ネット+くくりわな)	2 頭	1,170 基日	0.17 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数×100

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 2 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数：17 個体

<ul style="list-style-type: none"> 適正な捕獲が実施されたかを確認する手法 写真と尾を確認
--

5. 各種猟法の定義

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。

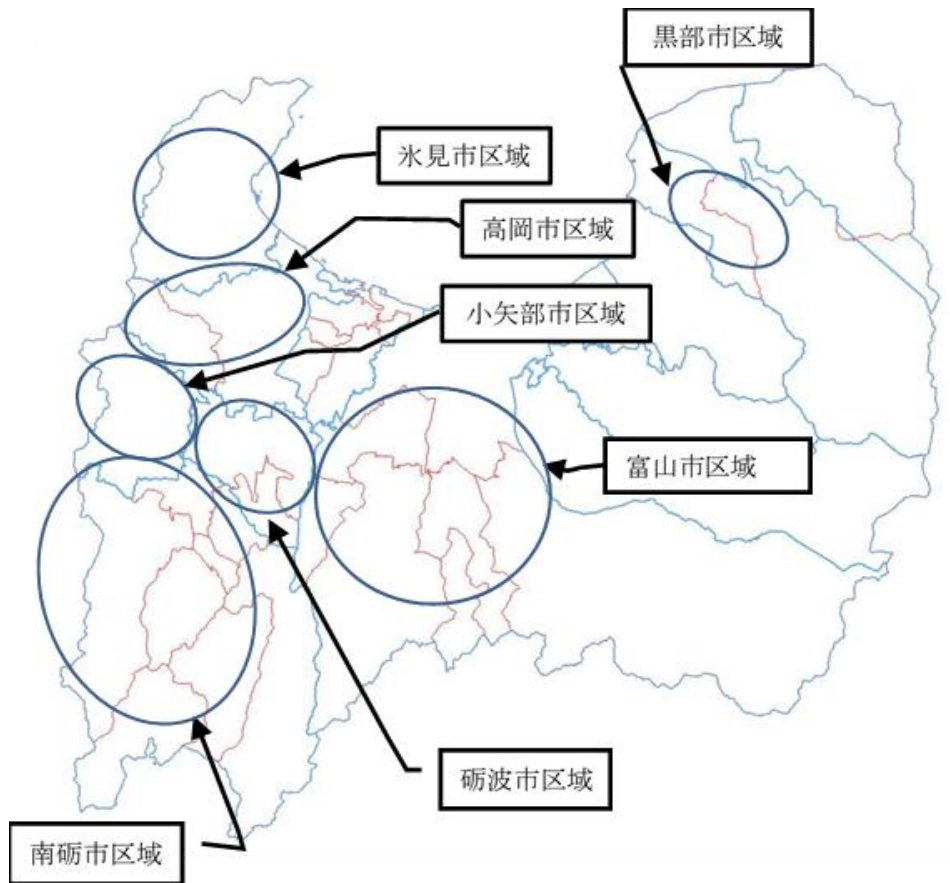


図1 指定管理鳥獣（ニホンジカ）捕獲等事業実施地域

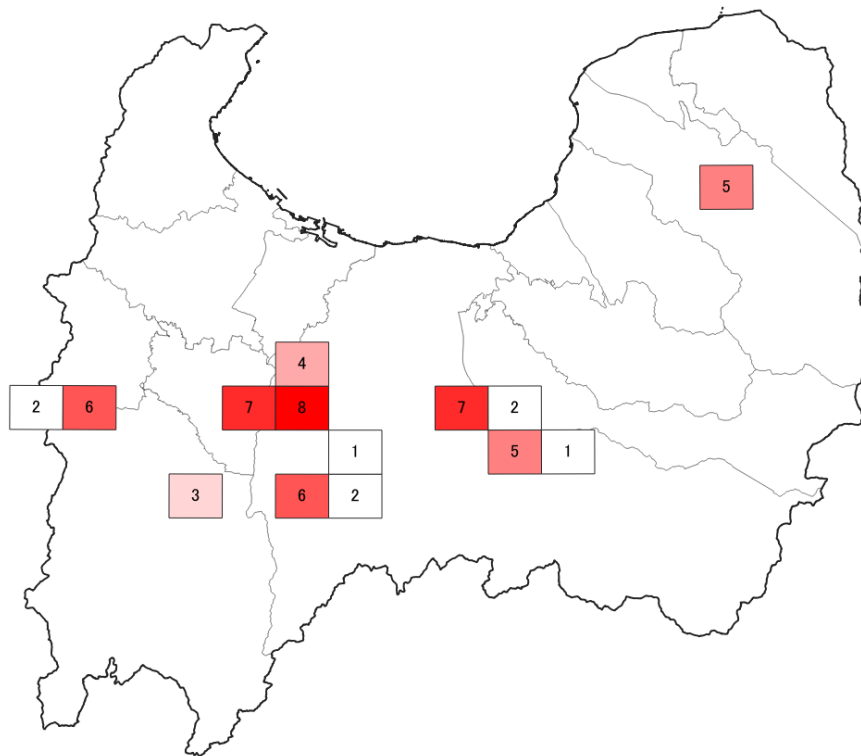


図2 ニホンジカの捕獲地点 5 kmメッシュ (頭数) 【銃+わな】

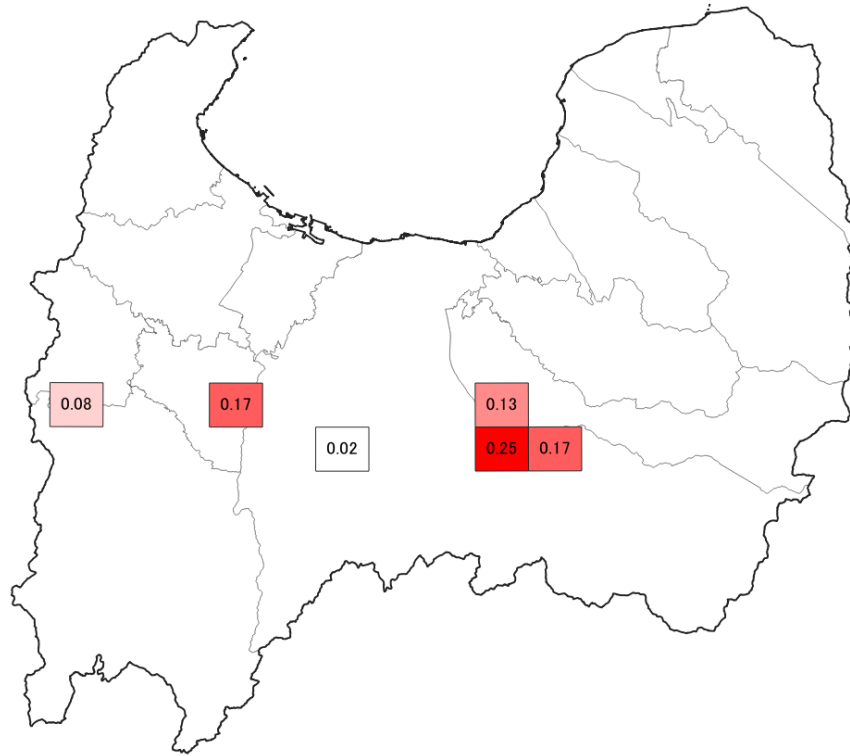


図3 ニホンジカの CPUE 5 kmメッシュ【銃】

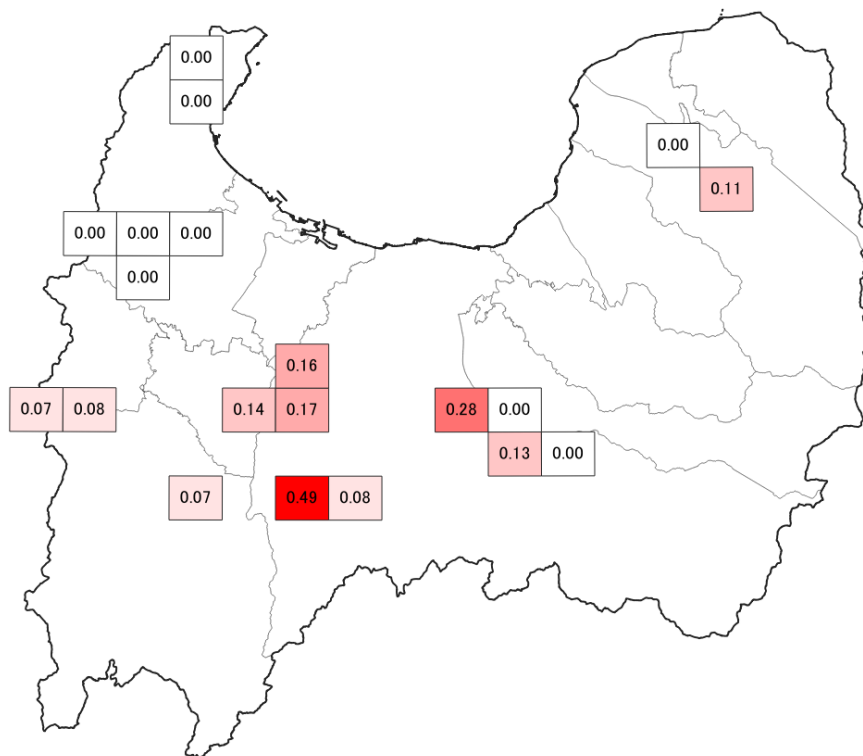


図4 ニホンジカの CPUE 5 kmメッシュ【わな】

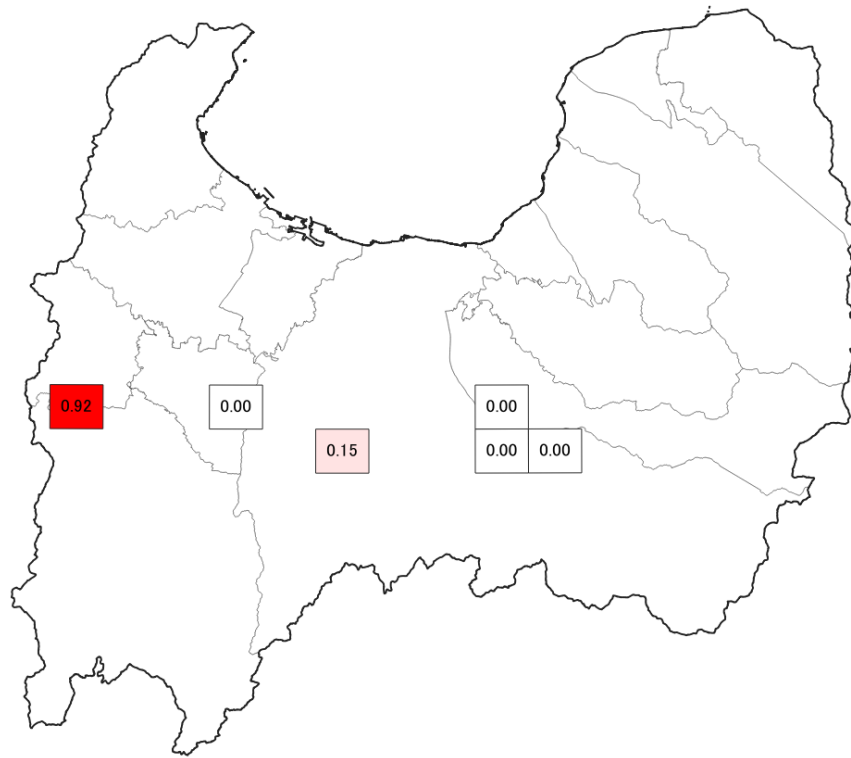


図5 ニホンジカの SPUE 5 kmメッシュ【銃】

別添 2

付属評価シート（ニホンジカ）

付属評価シート（ニホンジカ）

付属評価シートでは、基本評価シートを補足する資料として、事業の費用対効果、個体群に与えた効果、環境への負荷等の評価する。特に、指定管理鳥獣捕獲等事業に直接関係する項目は、指定管理鳥獣捕獲等事業の単年度の事業評価に直接的に関係する情報として、収集することを推奨する項目である。

1. 指定管理鳥獣捕獲等事業に直接関係する項目

(1) 費用・労力に関する項目

事業に要した費用に対する実施結果の評価は、単に、捕獲頭数当たりの総事業費で算定をするのではなく、捕獲や捕獲以外に要している労力を加味した評価とすること。

費用・労力に関する評価項目		定量的評価の算定	評価する上での課題等
捕獲作業に割ける労力		捕獲経費のしめる割合＝捕獲経費÷総事業費 (0.22) = (3,081,000) / (62,646,278)	
事業全体の中で捕獲作業以外に割く労力	事前調査に要する労力	以下、該当する算定方法にチェックをいれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 調査等の事業費÷総事業費 (5,011,119) / (62,646,278) <input type="checkbox"/> 総人工数に対する調査に要する人工数の割合 (調査人工概数) / (総人工数) <input type="checkbox"/> その他 ()	
	移動に要する労力	<input checked="" type="checkbox"/> 最も遠い作業場所において、一日当たりにより要した移動時間と捕獲作業のために確保できた実働時間の例を記入 (移動時間 2.5) + (実働時間 2) <input checked="" type="checkbox"/> その他の算定方法 (移動時間 495 時間) / (総捕獲等時間 755 時間)	実働時間は見回り・餌やりの実働時間
	捕獲個体の処理に要する労力	以下、該当する算定方法にチェックをいれる。 <input type="checkbox"/> 処理費÷総事業費 () / () <input type="checkbox"/> 総人工数に対する処分に要する人工数の割合 (処分人工概数) / (総人工数) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (2 人・時間 / 頭)	

(2) 個体数の推定等に用いた生息密度指標 (CPUE、SPUE を除く)

指定管理鳥獣捕獲等事業の実施区域内において定点のある生息密度指標調査について、該当項目チェック欄にチェックする。

項目	生息密度指標チェック欄	備考
生息密度	<input type="checkbox"/> 区画法 <input type="checkbox"/> 糞粒法 <input checked="" type="checkbox"/> 糞塊法 <input type="checkbox"/> ライトセンサス法 <input type="checkbox"/> 無人撮影装置 <input type="checkbox"/> その他 ()	生息密度指標の値を記載する。 総糞塊密度 (総糞塊数/km) R 5 0～ 13.0 (平均 4.2) R 3 0.2～ 8.4 (平均 4.7) H30 0～ 6.0 (平均 1.7) H29 0～ 5.6 (平均 2.0) H28 0～ 4.0 (平均 0.7) H26 0～ 8.5 (平均 2.3) 別紙参照
密度指標を、地理情報で把握している。	<input checked="" type="checkbox"/> 5km メッシュ <input type="checkbox"/> 1km メッシュ <input type="checkbox"/> 地点 (緯度経度) <input type="checkbox"/> 定点	生息密度指標を図化できる場合、概況図を添付する。 別紙参照

※ニホンジカについて、経年的に生息密度を比較するための指標として糞塊法が有効であると考えられており、これまで実施してきた調査手法と合わせ、糞塊法による調査も有効であると考えられる場合は、当交付金事業で行う生息密度指標の調査は、糞塊法による調査の実施を検討願います。

(3) 自然植生への影響の軽減に関する項目

ア) 指定管理鳥獣捕獲等事業の事業区域内の植生被害状況の基礎的な調査

指定管理鳥獣捕獲等事業の事業区域内の植生被害の情報は、事業効果の測定のための基礎的な情報となる。特に、事業初年度の情報は極めて重要で、後年の事業の効果測定するための最も基礎的な情報の一つであることから、何らかの情報を収集しておくべきである。下記のチェック項目に示す定量的なデータの他、定量的なデータを取れない場合は、事業区域内の代表的な地点の写真及び撮影位置（地点と撮影方向）を記録して、地図情報として整理しておくだけでもしておいた方がよい（後年、同じ場所で同じ方向からの写真が撮れれば、比較可能である）

事業区域内における 収集項目	事業実施前又は初年度 の情報の有無	備考
①下層植生の被度	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	事業初年度の情報は 後年の事業の効果の 評価の基本となる。
②指定種の被度や個体数	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
③保全対象種の被度や個体数	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
④低嗜好性植物の割合	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
⑤ブラウジングラインの形成	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
⑥土壌流出	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
⑦事業区域内の植生被害状況の写真	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

イ) 被害状況の基礎的な調査

数値としてのデータがない場合でも、事業開始時点の事業地の写真は、位置情報を記録した上で取得すべきである。その際、撮影位置と撮影向きが、後で分かるように記録を取得しておく。

事業区域内における収集項目	事業開始時点の値	今年度の値	増減の傾向
① 下層植生被度		被害度 0 : 64 地区 被害度 1 : 8 地区	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②指標種の被度や個体数			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③保全対象種の個体数			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④低嗜好性植物の割合			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
⑤ブラウジングラインの形成		1	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
⑥土壌流出		1	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

ブラウジングラインは、「1 : なし」、「2 : 不明瞭」、「3 : 明瞭」の3段階で評価。

土壌流出は、「1 : ほとんどなし」、「2 : にわかにより」、「3 : あり」、「4 : 顕著」の4段階で評価。

(4) 捕獲にともなう環境への影響の評価

下記項目に関し、環境への影響に関する課題を記入する。その定量的な評価のために収集している項目があればチェックをする。集計した結果がある場合は、別添に添付する。

項目チェック欄	環境への影響に関する課題	定量的評価の算定例 (算定可能な項目にチェック)
鳥類の鉛中毒症例の把握		<input type="checkbox"/> 収容した鉛中毒症例個体の種類・数
鉛中毒防止の措置		<input checked="" type="checkbox"/> 非鉛弾の使用のための経費を計上 <input type="checkbox"/> 非鉛弾使用数を把握
錯誤捕獲の実態 錯誤捕獲が想定される鳥獣種： カモシカ ツキノワグマ タヌキ アナグマ等	(錯誤捕獲を未然に防止するための措置) カメラで事前調査し、わなを移動・不稼働にする	<input type="checkbox"/> 改良したわなの設置数
	(錯誤捕獲個体に対する措置) 放獣を基本とする。	<input checked="" type="checkbox"/> 非標的種の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 非標的種の捕獲頭数 <input checked="" type="checkbox"/> 放獣した頭数 <input checked="" type="checkbox"/> 傷病の状況

(5) 鳥獣保護管理に係る専門家の活用状況

活用した段階ごとに、活用した登録区分の人数と活用概要を記入する。なお、活用した人数には、直接検討委員を嘱託した場合だけでなく、委託業者の従事者や事業に係る意見やアドバイスを求めた者も含めて差し支えない。活用概要には、人材登録者の取組も含めて、具体的な活用内容を記載する。

登録者の一覧は環境省 HP (<http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort1/effort1-1/index.html>) を参照のこと。

活用した段階	専門家の 総数 (数)	活用した専門家のうち、人材登録者の数			活用概要
		プランナー	コーディネーター		
			調査	捕獲	
計画の検討・策定 (必要な調査を含む)	委員 1 2	1			検討委員会の開催
捕獲	3	2			技術的な講義を受ける
捕獲手法の技術開発					
捕獲情報の整理・分析、事業評価・検証	1 委員 1 2	2			錯誤捕獲の分析における助言 検討委員会の開催
認定事業者等の育成	1	1			麻酔吹き矢の指導 ニホンジカの生態等の講義

2. その他の参考情報

以下は、中長期的に評価すべき項目だが、指定管理鳥獣捕獲等事業を実施し、評価する上で重要な周辺情報として、収集する事が望まれる項目である。指定管理鳥獣捕獲等事業やその上位計画である第二種特定鳥獣管理計画の目的達成状況を計るための指標となる項目でもある。下記は、基本的に、情報の有無をチェックするものである。ただし、事業地内の植生等の被害状況は、重要な情報であるため、事業開始時点の情報がある場合は、現状を記録する。

(1) 農業被害の防止に関する項目

収集項目	情報の有無	備考
農業被害金額	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
農業被害面積／農地面積	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
農地面積	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
林業被害金額	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
林業被害面積	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
被害対策経費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
被害者意識アンケート	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
電気柵の設置距離	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
防護柵の設置距離	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(2) 生活被害の防止に関する項目

収集項目	情報の有無	備考
交通事故件数	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	道路におけるニホンジカの死亡個体の集計
列車事故件数	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
事故による死傷者数	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
事故位置情報	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
市街地目撃情報	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和5年度ニホンジカ糞塊密度調査 結果概要

表2 地域・市町村別のニホンジカの糞塊密度

地域区分	市町村	地区	調査ルート	総糞塊密度 (糞塊数/km)	総糞塊密度平均 (糞塊数/km)	
					地域区分	市町村
砺波・小矢部	南砺市	立野脇	1	3.8	2.9	3.0
		高草嶺	2	2.3		
	砺波市	寺尾	8	2.6		2.6
富山	富山市	八尾町胤師ヶ原	3	3.8	5.7	6.4
		吉野	4	5.7		
		八尾町柚木	5	13.0		
		細入	6	5.6		
		小谷	7	3.8		
	立山町	芦舩寺	9	4.4		4.4
	上市町	須山	11	3.9		3.9
高岡・射水	高岡市	西広谷	10	0.0	0.0	0.0
新川	魚津市	東城	12	0.7	3.3	0.7
	朝日町	山崎	13	7.8		4.6
		七重谷川	14	1.3		

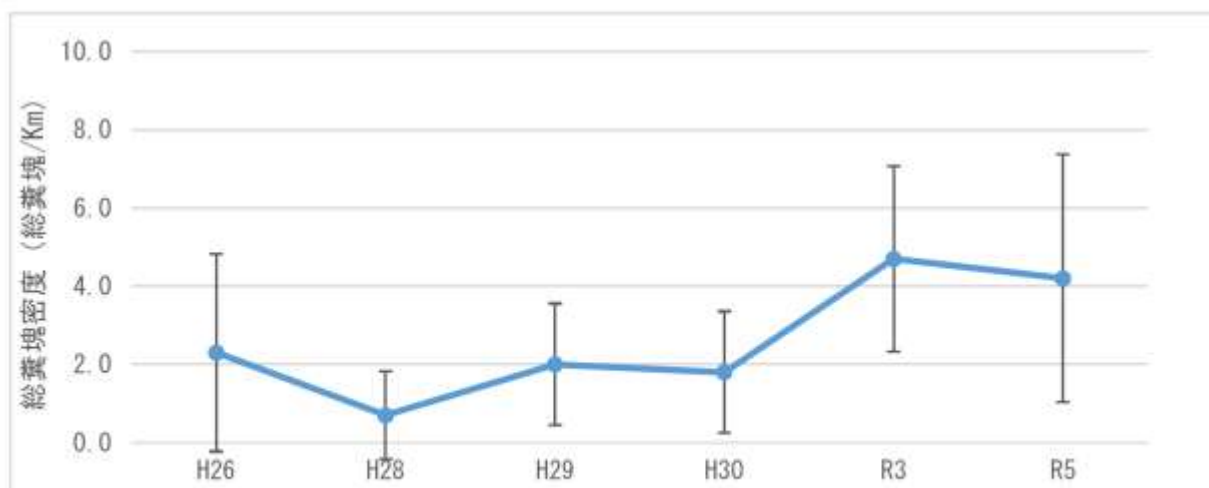


図3 富山県全域における平均糞塊密度の推移

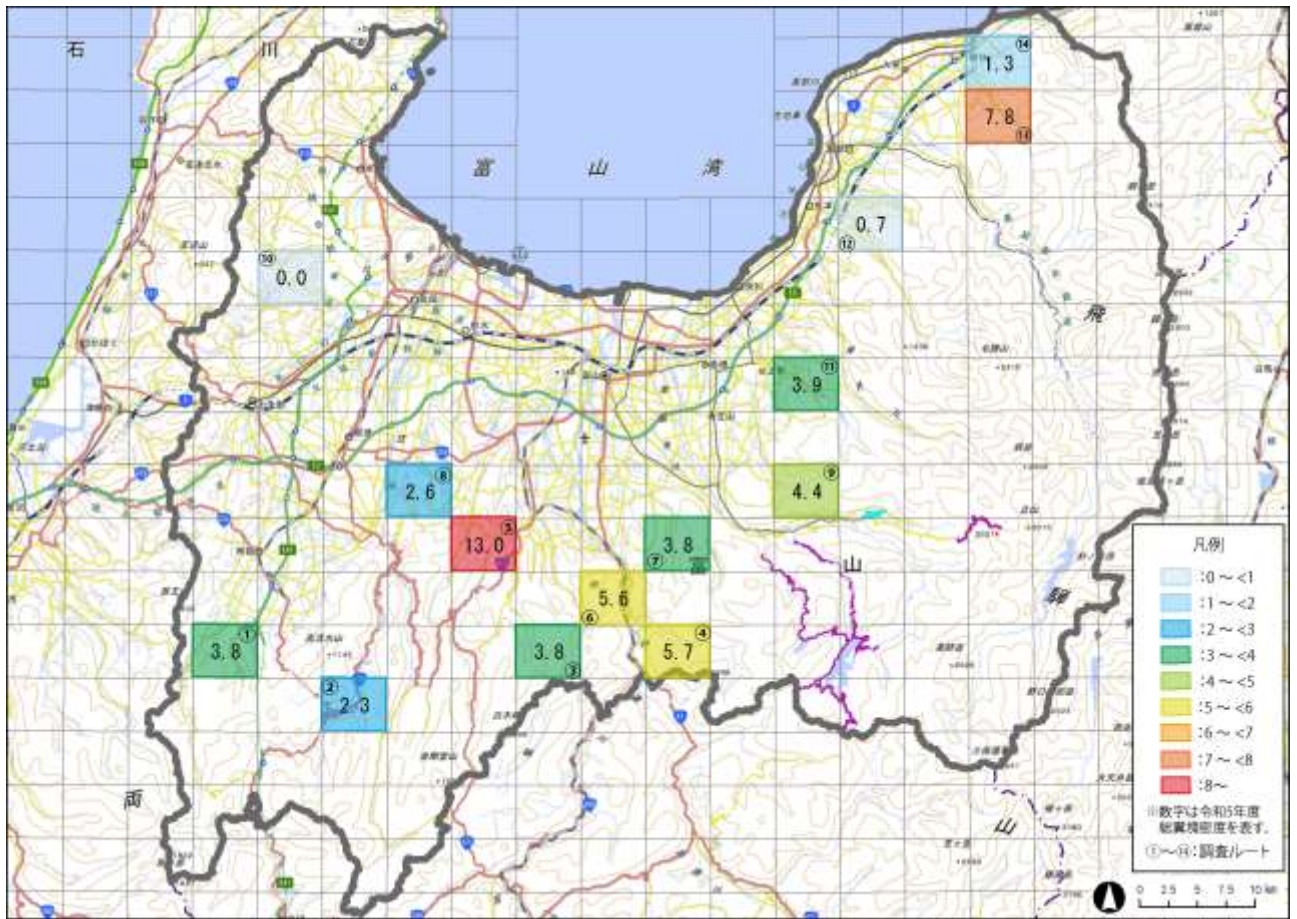


図 糞塊密度調査結果 概況図